

令和5年2月1日

# 敬愛短大附属幼稚園だより 2月号

新型コロナの感染がインフルエンザの感染と重複して広がっており、クラスターも発生したりするなど今だに気を許すことはできないようです。一方、政府や県・市からの指導では卒業式などの学校行事を一律に中止したり、給食時の黙食なども現時点では換気等必要な対策が行われていれば強制することのないようにとされています。全国的に昨年度はほとんど発生していなかったインフルエンザの罹患が増えておりますので、室内の換気の外にうがいや手洗い等を励行して行くことは効果が高いですので、これまで通りに幼稚園でも行いますが、ご家庭でも充分にご注意をお願いいたします。

幼稚園では3学期が一番短い学期ですので、あっという間に過ぎて行きます。年長さんは間もなく卒園の時期を迎え、そして小学校への入学です。期待と不安もあると思いますが、敬愛幼稚園での学びはしっかりと根付いていますので、自信を持って楽しい学校生活への夢を大きく膨らませてください。

満3歳・年少・年中クラスの皆さんはそれぞれ進級ですので、4月になったら新しいクラスでの幼稚園生活をたっぷり楽しんでください。

## 【最近の高齢者問題から】

私も含めて日本は高齢化が進んでいます。これらは医療体制の充実や自然環境の改善等の影響で悪いことではありませんが一つの社会現象となっています。また、少子化による将来の働き手の不足などの課題を抱えています。私が生まれた頃は200万人の子どもが誕生していましたが、現在は80万人ほどにまでに減少してしまっています。

これは異常な数値で、これからの社会を支えるパワーが大きく減少して行くことを示しており、経済活動や知識・技術や文化の伝承にも大きな影響があります。

また一方、高齢者が抱える問題も多発しています。ニュースでよく見かけますが、高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違いや交通事故の問題。そして、一部ではありますが、わがまま放題の高齢者の増加。この年代は人口も多く、年金の受給額も比較的良く、経済的にも満たされた人が他の年代と比べても多い傾向があります。それが原因かは特定できませんが、自己中心的で、自分が正しいとばかりに他の人を批難したりする人も多くなっています。義務教育の学校では、学校に対する注文やクレームの中心が高齢者であるという笑えない現象も起きています。保護者を通り越して孫のことで学校にクレームを投げかける高齢者も近年目立って多くなっています。

もちろん一部の高齢者ではありますが、過剰な発言や自身の価値観の押し付けと言えるような行動も増えています。夫婦間での会話を傍で聞いていると、奥さんへの一方的な要求や言動も良く耳にします。こうしたことを経験するたびに自分も気を付けようと思うこの頃です。

客観的にこのような高齢者を見てみると、他人の考えを聞かず自分の考えを押し付けている場合がとても多く、“聞けない高齢者”という感じを持ちます。いつの世も、また、どの世代でも相手の言動に耳を傾けられるという行為は人間関係を円滑にするためにとっても大切なことと思われれます。

話すより聞くことが上手な人は何よりも相手の信頼を得たりすることができます。営業職の方であれば基本中の基本となります。自分の価値観で相手を制御（本人はそうしているつもりはない）しようとする相手からの信頼は得られず、物事は円滑に進むことはなくなります。

私も営業職の仕事をしていた時期がありますが、販売しようとするほど相手は遠ざかります。それよりも何気ないことで相手の信頼を得られたときには、売り込まずとも相手方から自然に結論を出してきます。それは納得をするのは自分の意志だからです。相手方が意思決定をするお手伝いをするのが営業力を持った人のすることです。子どもたちも同じで、大人の考えを押し付けるのではなく、本人が正しく意思決定できるように話を聞くだけで良いのです。聞き上手を目指してみませんか。

(園長 杉山清志)